

令和 2 事業年度  
**事業報告**

(令和 2 年 1 月 1 日から令和 2 年 12 月 31 日まで)

令和 2 年は新型コロナウイルスの感染が世界的に拡大する未曾有の事態となりましたが、中央競馬の開催は無観客等の様々な対策が取られたうえで着実に実施されたことから、中央競馬の馬主の皆様から前年を上回る寄付金をいただくことができました。

その結果、施設整備等助成事業については、予定どおり実施することができましたが、研修事業については、新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、海外及び国内ともに中止せざるを得ませんでした。

こうした厳しい状況下ではありましたが、当財団は公益財団法人として社会福祉の向上と発展に寄与することを目的として、令和 2 事業年度は以下の事業を実施しました。

## I. 事業の実施状況

### 1. 社会福祉事業に対し施設整備等の助成を行う事業

#### (1) 助成金交付枠等の通知

令和元年 12 月に開催した理事会及び評議員会において決定した令和 2 事業年度の助成金交付枠（各馬主協会及び各県共同募金会への交付枠）について、令和 2 年 1 月上旬に各馬主協会及び各県共同募金会あてに事務手続の案内とともに通知しました。

併せて、当財団のホームページにおいて、事務手続方法等を詳細かつ平易に掲載することにより、申請する社会福祉施設、受付・推薦を行う各馬主協会及び各県共同募金会、また、審査を行う当財団の事務の効率化を図りました。

なお、令和 3 事業年度の助成金交付枠についても、令和 2 年 12 月の理事会及び評議員会において決定しました。

#### (2) 助成対象事業の決定

全国の社会福祉法人等を対象に広く募集を行い、各馬主協会及び各県の共同募金会を通じて申請のあった物件について、助成金交付要綱等に基づき、また、事業計画で定めた方針に従って厳正に審査し、6 月から 9 月

までの期間において、順次助成対象事業を決定して関係各所に通知しました。

なお、令和2事業年度の概要は、以下のとおりです。

助成金：4億8,907万円（対前年比 103.6%）※含む加算額

助成件数：378件（対前年比 99.2%）

※累計（昭和44年度～令和2年度）

助成金：1,213億円余

助成件数：28,630件

【表1】 交付区分別助成事業の内訳

【表2】 施設種類別助成事業の内訳

交付区分	件数	金額(千円)
馬主協会	207	279,960
共同募金会	171	209,110
合計	378	489,070

施設種類別	件数	金額(千円)
障害者(児)	160	213,630
老人	130	182,330
母子・児童	86	91,770
その他	2	1,340
合計	378	489,070

【表3】 1物件当たりの助成金平均交付額（4年間の推移）

区分	令和2年度 (件数)	令和元年度 (件数)	平成30年度 (件数)	平成29年度 (件数)
馬主協会 (10単協)	135.2万円 (207件)	127.0万円 (211件)	132.5万円 (193件)	120.1万円 (210件)
共同募金会 (38府県)	122.3万円 (171件)	120.0万円 (170件)	113.3万円 (170件)	113.2万円 (168件)
全体	129.4万円 (378件)	123.9万円 (381件)	123.5万円 (363件)	117.0万円 (378件)

【表4】 車両等に対する助成金交付額の割合（4年間の推移）

区分	令和2年度 車両割合	令和元年度 車両割合	平成30年度 車両割合	平成29年度 車両割合
馬主協会	57.8%	67.1%	65.6%	68.2%
共同募金会	62.9%	71.5%	66.0%	67.5%
全体	60.0%	69.0%	65.8%	67.9%

参考：車両台数 198台 228台 213台 229台

### (3) 助成金の交付

6月以降における助成金交付決定の通知に基づいて事業を実施した法人に対し、8月から随時助成金の交付を行いました。

なお、事業の実施に当たり、入札等の結果によって事業費総額が減少

した場合は、交付決定時に各法人に通知した助成金額を総額の減少と同じ比率で減額して交付しましたが、その減額分については、各馬主協会及び各県共同募金会に対する令和4年度の交付枠に加算されます。

#### (4) 助成事業の監査

令和2年度助成事業の監査については、平成30年度に助成した団体を対象として、全体で書類監査60件（うち実地監査27件）を選定しました。

実地監査については、馬主協会経由施設と県共募経由施設の過去2年間の実施状況を踏まえ、馬主協会経由施設5協会10団体、県共募経由施設9県17団体の合計27団体について実施する予定でしたが、新型コロナウイルスの感染拡大により中止し、書類監査を行いました。

書類監査の結果、各施設とも助成事業の実施内容について管理及び運用等特段の問題は見られず、また、助成物件について有効に利用されていることを確認しました。

## 2. 社会福祉事業関係者の研修事業に対し助成を行う事業

### (1) 海外研修事業

海外研修事業については、新型コロナウイルスの感染拡大により実施を延期及び募集を中止しました。

① 第48回海外研修生3名の研修を延期（3月19日発表）

② 第49回海外研修生の募集を中止（5月22日発表）

### (2) 国内研修事業

国内研修事業については、外部実施事業者への助成事業として行ってきましたが、令和2事業年度は前年12月～1月に公募し、2月の審査の結果、当財団の目的に合致した研修を実施可能な公益財団法人社会福祉振興・試験センターを研修実施事業者として選定し、以下に記載した2回の研修会に対して助成する予定でしたが、新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から中止しました。（6月18日発表）

① 7月開催

対象者：高齢者施設の介護職員

期間：7月6日（月）～7月10日（金）

受講定員：100名

② 10月開催

対象者：障害児・者支援施設等の生活・就労・相談支援員  
期間：10月19日（月）～10月23日（金）  
受講定員：100名

3. 中央競馬関係者の福利厚生の上昇のための事業（福祉手当の支給）

福祉手当支給対象者（令和2年1月1日で62名、令和2年12月31日で64名）に対して、支給要綱等に基づき四半期毎に適正に支給しました。

II. 総務関係

1. 会議の開催状況

理事会及び評議員会の開催状況は以下のとおりですが、新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から2月21日開催の第1回理事会を除き、全て書面により決議されました。

(1) 理事会

開催日	主たる議案
第1回 (2月21日)	○令和元事業年度 事業報告及び決算の承認の件 ○令和2事業年度 第1回定時評議員会開催の件 ○任期満了に伴う理事及び監事候補者名簿の件 □職務執行の状況等について（報告）
第2回 (3月13日)	○理事長、副理事長及び専務理事の選定の件 ○常勤役員の月額報酬の決定の件 ※書面表決
第3回 (4月1日)	○令和2事業年度 第2回評議員会の開催の件 ○評議員の欠員による後任評議員候補者推薦の件 ※書面表決
第4回 (9月18日)	○令和2事業年度 第3回評議員会の開催の件 ○公益財団法人中央競馬馬主社会福祉財団財産管理運用規程の一部を改正する件 ※書面表決
第5回 (12月9日)	○令和2事業年度 第4回評議員会の開催の件 ○令和3事業年度 事業計画及び収支予算の承認の件 ○令和3事業年度 施設整備等助成金の交付枠決定の件 □職務執行状況の報告について ※書面表決

## (2) 評議員会

開催日	主たる議案
第1回 定時 (3月13日)	○令和元事業年度 事業報告及び決算の承認の件 ○任期満了に伴う理事及び監事の選任の件 ○公益財団法人中央競馬馬主社会福祉財団役員及び評議員の報酬等の支給に関する規程を一部改正する件 ※書面表決
第2回 (4月10日)	○評議員の欠員による後任者選任の件 (退任) 町田勝弘 評議員 (後任) 本川一善 評議員 ※書面表決
第3回 (9月28日)	○理事の選任の件 (退任) 寺尾徹 理事 (後任) 金井正人 理事 ※書面表決
第4回 (12月17日)	○令和3事業年度 事業計画及び収支予算の承認の件 ○令和3事業年度 施設整備等助成金の交付枠決定の件 ※書面表決

## 2. 役員、評議員の異動等

4月10日 第2回評議員会 ※書面表決

○評議員の欠員による後任者の選任

(退任) 町田 勝弘 評議員

(新任) 本川 一善 評議員

9月28日 第3回評議員会 ※書面表決

○理事の選任

(退任) 寺尾 徹 理事

(新任) 金井 正人 理事

## Ⅲ. 事業報告の附属明細書

令和2事業年度 事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する「事業報告の内容を補足する重要な事項」に該当するものではありませんでしたので、附属明細書は作成いたしませんでした。